

いまの社会を、憲法通りにつくり変えよう

憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュース

650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10・兵高教組会館4F

電話：078-366-6855 FAX：078-366-6856

Eメール：kenpou-hgkyodo@s9.dion.ne.jp

HP：https://kenpou-hyougo.sakura.ne.jp/

憲法を活かそう

No.1043

2026年2月19日

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを たたかい続けよう



二つの虚構、つまり小選挙区制と高市氏の政策論争拒否によって作られた」と指摘し、続けて「しかし国民多数はいまの生活をなんとかしたい願いと戦争する国づくりには反対の意思をもっており、今後の高市強権政治とぶつからざるを得ず、憲法を真ん中にすえた共同のたたかいがいよいよ真価を発揮するときだ」と強調しました。

市民デモHYOGO三宮マルイ前にて木曜行動

2月12日、風が強かったですが参加者は15人。スピーチは、高市政権・日中関係・憲法などについて。チラシは400枚用意しすべて配布しました。シール投票は「中国外交はこのままでよいと思いますか？」を問い、「思います」が9票、「思いません」が60票、「わかりません」が12票の計82票、久々の多さでした。自由意見欄には、「難しい相手と向き合うのが真の外交だ。中国に対して勇ましそうな態度を見せているだけで、向かい合って話しあう努力をしないのは『逃げの外交』というしかない」「『強い経済』などと勇ましい言葉を使うが、中国から経済関係を閉ざされると、日本経済はどんどん弱まることを知らないのか!」、「戦争は外交の敗北。憲法9条を持つ日本こそ、和平・友好外交が必要と思う」、「日中が平和的に交流することが、日本の未来になります。高市首相のように中国を敵視してはなりません。今や高市首相は国難になっています」と4人が書き込まれました。

意見の違い尊重

兵庫

2026. 2. 13
しんぶん赤旗

2・11「建国記念の日」不承認兵庫県民集会が11日、神戸市中央区で開かれ、阿江善春神戸女子大学特任教授が「『建国記念の日』に本来の日本文化を考えると題して講演しました。阿江氏は、日本文化の真髄は述語から主語を見て講演する阿江氏11日、神戸市中央区

「〇〇である私」に気づき謙虚さを失わず「あるがまま」を生きていることであり、道徳を口にしながら主語から述語を見て、自己都合や自我に翻弄（ほんろう）され「なすがまま」を生きていることではないと語りました。本来の日本文化は意見の違いがあっても互いを尊敬する世界観を持ち、新自

由主義とは水と油だとし、改憲右翼団体・日本会議ではなく自分たちこそ継承していかうと呼びかけました。実行委員会の基調報告では、「建国記念の日」制定は、非科学的歴史観に基づき侵略戦争推進のために利用された「紀元節」を復活させ、国民主権を否定して日本を「戦争する国」にする試みだと説明。高市政権による「戦争する国づくり」について警鐘を鳴らしました。

◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆

★★★ 2月21日（土） 13時～

2026兵庫県小林多喜二記念集会

主催：実行委員会

場所：こうべまちづくり会館2階ホール

講演：田野大輔さん・甲南大学教授

『ホロコーストをどう考えるべきか

～「悪の凡庸さ」を超えて～』

資料代：¥1000

（連）078-351-0677

★★★ 3月7日（土） 13時半～

原発再稼働反対、震災復興支援3・7丹波地域集会

場所：丹波市柏原自治会館4階

文化行事：二胡演奏

講師：速水二郎さん・元関電職員

『原発をめぐる最近の情勢』

（連）0795-76-1804

「改憲と戦争準備」を止める 大運動へ

第141回「憲法生かす昼パレード」

総選挙直後の2月10日、恒例の憲法昼休みパレードには、高市首相の「憲法改正を進める」発言に危ないと市民が約30名参加し、東遊園地から三宮センター街を通り、元町駅前まで元気よく行進しました。

参加者の一人は「高市自民党が圧勝したので声をあげないと危ないと思い来た」と言っていました。センター街ではデモ隊にお辞儀する人もあり、「軍拡許すな」など高らかにコールしました。

出発に先立って津川知久憲法共同センター代表は、「自民党の単独三分の二議席は高市人気に乗った